

1. 9 源氏物語ミュージアムの見学（国語分野）

(1) 研究開発の課題（研究概要）

実際に日本の文学と関わりのある土地や建造物を訪れて、その風土に触れ、書物や絵画、彫刻、工芸品などを間近に見るという体験を通して、日本の文学や文化に対する興味・関心を深める。

(2) 研究開発の経緯

国語科のワークショップは、例年、愛知県西尾市の岩瀬文庫の見学であったが、生徒により多くの体験をさせるため、本年度は京都府宇治市を訪れることとなった。4月3日に下見に行き、見学先を決定した。7月18日に事前説明会を行い、8月19日に「丸久小山園 槇島工場」、「宇治平等院」、「源氏物語ミュージアム」を見学した。

(3) 研究開発の内容

ア 仮説（ねらい、目標）

本事業は、日本文化への関心や豊かな発想力・深い洞察力などの「総合人間力」を促すことができる。

イ 研究の内容・方法

対象生徒 全学年の希望者 40名
日時場所 8月19日(火)
 丸久小山園 槇島工場、宇治平等院、
 源氏物語ミュージアム

実施内容 ワークショップ
 丸久小山園 槇島工場
 工場・茶室見学、点茶体験
 宇治平等院

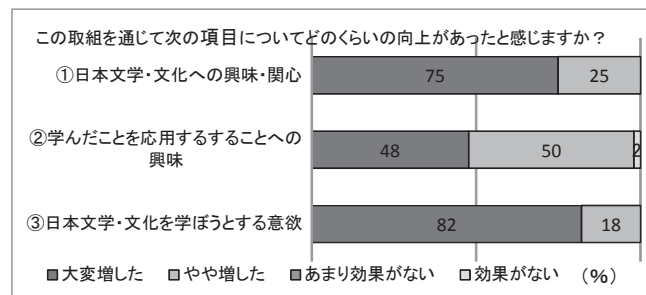
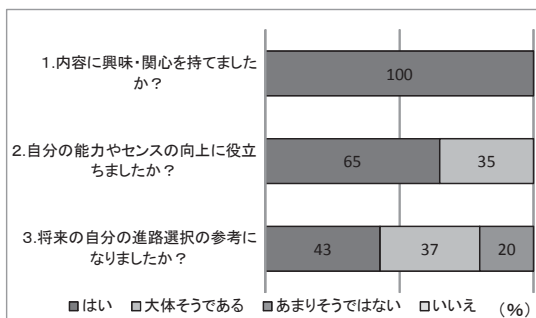
鳳凰堂、平等院ミュージアム鳳翔館などの見学
 源氏物語ミュージアム

館内見学、展示物は六条院の模型、牛車、女房装束など



源氏物語ミュージアム見学の様子

ウ 検証（成果と反省）



生徒の感想から

- ・古典や日本史で学んだものに実際に触れて、習ったことが知識でなく経験として記憶できた。
- ・初めて源氏物語に触れて興味がわいた。源氏物語について学んでからまた訪れたいと思った。
- ・文系にも楽しめる企画でよかった。

アンケート結果や生徒の感想から、ほとんどの生徒にとって、日本文学や文化に対する関心を高めるとともに、今後の学習意欲向上にもつながる内容であったと言える。ただ、源氏物語についての知識が乏しい1, 2年生にはわかりにくい点もあったようだ。次年度はより有意義な見学ができるよう、事前指導を行った上で臨みたい。